

モデル事業 in 「エスカール」 実施結果

日時：平成 27 年 12 月 14 日（月）、11:00~13:20

場所：ケアハウス「エスカール」

北上市立花 10 地割 38 番地 電話 0197-61-2015

《参加対象者》 「エスカール」 施設入居者等 30 名



開会挨拶（県理容組合 鈴木副理事長）





すし組合



ちらし寿司を提供



参加者から「美味しい」の声があり、新田副理事長から酢加減等をお話いただきました。



料理業組合



二子里芋を使用した芋の子汁を提供



地元の食材を使用した芋の子汁に、おかわりする方もいました。



社交飲食業組合（西部理事長に特別応援いただきました）



世界チャンピオンの見事なシェイクに酔いしれました。 ノンアルコールカクテルを提供



カクテルを、2種類楽しむ参加者もいました。



理容組合の皆さん



カット後、テレビ局のインタビューに「綺麗になって嬉しい」と話す参加者



ちらし寿司、芋の子汁、ノンアルコールカクテルを試食いただきました。



閉会式（県社交飲食業組合西部理事長から挨拶をいただきました）



きたかみ

2015年
(平成27年)
12月15日
火曜日

散髪奉仕や昼食提供

県理容組合 ケアハウスを訪れ交流

県理容生活衛生同業組合は14日、北上市立花のケアハウス「エスカー」で「生活衛生サービス高齢社会アプローチ事業」を実施。入居するお年寄りたちに散髪サービスや昼食にちらしずしななどを振る舞い交流を深めた。

北上市では2カ所が対象で、市内での事業は同日が最後となった。

事業には県すし業生活衛生同業組合、県料理業生活衛生同業組合、県社交飲食業生活衛生同業組合が協力。同日は、各組合から合わせて15人ほどが同施設を訪問した。

厚生労働省から2015年度生活衛生関係営業地域活性化連携事業の採択を受けてモデル事業を実施。生活衛生サービスの向上と高齢社会に根差した地域コミュニティの活性化を目指す。今年度は全国で6県採択された。本県では盛岡市と北上市、宮古市などの7施設で事業を展開する。北



生活衛生サービスでちらしずしと芋の子汁、カクテルが出された昼食を楽しむお年寄りたち

「昼食には各組合員が真心を込めて調理したちらしずしや芋の子汁、ノンアルコールのカクテルがテーブルに並んだ。西村サヨさん(82)は「ちらしずしは、酔の量がちょうど良く味は最高。カクテルも甘くておいしい」と話し、入居者と共に食事を楽しんでいた。

県生活衛生営業指導センターの佐々木浩明経営指導員は「顔の手入れをしたりおいしい物を食べたりするとお年寄りの表情も明るくなる。こうした結果を伝え、お年寄りも喜ぶ事業の継続化が図られれば」と期待した。

12月14日(月)、IBC岩手放送と北上ケーブルテレビでニュース放映されました。